

●25周年記念誌寄稿依頼者から届く

7月に依頼書を送ったところ締め切り8月20日の期日前にご寄稿いただきましたのが、前理事長の山本雅晃さん、雲ヶ畑の西野護さん、金田徹さんからでした。今年の夏は夜になっても気温が下がらず熱帯夜の連続で大変暑い夏が続いていますが、高齢者の皆さんにかなり前までの事を思い出して文章に書いてくださいというお願いを投げかけてしまいました。大仕事を押し付けたものです。ところがこれに答えられないとお断りをいただいたお方もあり、さもありなんと前途多難だと思っておりました。その一方で快くお願いにお答えをいただき、期日前にご寄稿を届けてくださったお方が多数おいでになり、お願いして大変良かったと思います。現在思案中の皆さん、締め切り期日は8月20日になっておりますが、少し期日の延長も可能でございますので、是非ともご寄稿をお願いします。編集担当する者にとっては一日も早く全原稿がそろって編集に取り組むことができると願っています。各位には思いとは別にご多忙のところだと御推察もいたします。無理をせず少しでも早く書きあげてくださることを願っています。現在すでに投稿いただいた方のほかに上島裕さん、前摂南大学教授の澤井健二先生や滋賀県の蒲生考源倶楽部の野田晃弘さんからも必ず送りますと連絡をいただいております。25年前わずか30万円の予算で立ち上げてから25年を経過して14000万円の組織に、13人の集まりが160人の会員を擁するところに成長出来ました。その足跡を記録に残すための記念誌に皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

●「親子で遊ぼう学ぼう魚捕り」4回の開催で無事に無事故で終了出来ました。

梅雨があげると途端に猛暑が続く、熱帯夜が盆を過ぎても終わらず、地球がおかしくなったといっても不思議でない日が連日続きました。8月1日、6日、8日、10日と4連続、開催されたのが魚とりでした。コロナウイルス感染防止のために小学校などでは夏休みが短縮され、もう24日には二学期が始まり、こうした子どもたちのために集中した取り組みになりました。それでも定員をはるかに超える応募があつて、合計参加者は約250人を超えてのご参加になりました。

●京都府のこどもの水辺交流会も8月16日41名の参加で成功 40度記録した日でした。

開催前日に草刈りを行っていただき参加の子どもたちの通路の確保、そして川に覆いかぶさっている樹木の切り払いと会場の木津川事務所では取り組んでいただきました。異常な高温が続く河原の通路は暑くて大変でしたが、おかげで安全通行ができました。また疲れた足や体で戻ってくるときも安心して歩けました。熱中症対策としてのテントの張りの手配にも気を配るなど里山の会のスタッフが奮闘してくれました。「親子魚とり」や「水辺交流会」どの会場でも昨年楽しみにされていた川流れが実現できなく、コロナと熱中症対策のために、魚とりだけの取組になってしまったのが少し残念でした。ご父兄の協力を得てみんなで心を一つに子どもたちに楽しい夏休みになるよう来年度はさらに頑張りたいと思っています。

●第25回里山講演会9月6日京田辺市社会福祉センター13時開場 演題決まる

近年、気候変動による海水温度の上昇や水蒸気量の増大により、全国各地で毎年降雨災害が頻発し、洪水だけでなく土砂災害を含め、人命被害が増大しています。

これまでに数百年に一度の雨量に対応するため、河川内で洪水を安全に流す事を前提に整備が進められてきました。しかし、想定最大クラスの洪水の頻発により整備レベルを超え、被害が継続して発生しています。特に鬼怒川水害以降、水防災害意識社会の再構築として、避難が叫ばれ、自然災害は予想を上回るもので、簡単に避けられないものとの考え方が普及されてきました。異常気温や異常降雨などまさに千変万化の様相となっており、これからの水害対応について今後学習を深めたいと思っています。差し当たって最も身近なところから淀川河川事務所さんの出前講座として下記の演題でお話をいただくことになりました。このチャンスに大いに学びましょう、皆様方のご参加をお待ちしています。ご質問時間もたっぷりございますので、大いに語り合えればと思っています。9月6日(日) 開場13:00 閉会16:30 京田辺市社会福祉センター 3階 大ホール エレベーターあり 講師 国土交通省近畿整備局淀川河川事務所 専門官 演題「最近の出水と淀川河川事務所の動き」近年の災害の状況から 出席規模コロナウイルス感染予防のため100人としします。出席希望者 当日先着順で定員に達した場合入場制限となります ご理解ください 無料

●イタセンパラの取組み 実行委員長就任の光田先生来所 8月20日 13時 里山の会事務所 里山の会のどのような取り組みもみんなで相談して企画を確認して前に進んでいくこと大切になってきました。このイタセンパラノ復活を目指す取り組みもそうして進めてゆきたいと思っています。三蜜を考えると非常に困難です。なるべく早期に開催すべきではありましたが、諸般の事情からこんなに遅くなりましたが、先生との打ち合わせを行います。志のある方はどなたでも今後ご参加をお願いします。

●竹蛇籠の製作 初日は9月13日 9時30分から 20年度の竹蛇籠は例年通り3基の中聖牛設置を12月

5・6日に設置を予定していますので、27本の竹蛇籠を製作仕上げることになります。過去3年の経験では均一な材料を揃えること、幅と強度と粘り強さがもとめられます。苦心して竹割機と幅精製機とヒビ入れ機などの道具を作り、作業がスムーズに進められるように工夫を重ねてきました。13日以後は土日祝日とも連日製作講習会を開催しますので、技術の伝承のため積極的な参加にご協力をお願いいたします。また製作指導講師に大釜、太田、森島、福井、播川さんが当たっていただきたいと思います。できれば有田さんも実力を発揮していただきたいと思います。よろしくお願いします。

●**中聖牛の組立試行** 8月22日（土）9:00から12:30に作業終了予定です。今年こそは里山の会が自力で中聖牛を組み上げられたらと準備を進めてきました。有田さんにはこれまでの組み立てについて記録写真や冊子づくりに頑張っていただきました。22日に組立ててみたいと思います。大勢の皆さんのお越しをお願いします。

●**京都府子どもの水辺 感想文**

▲15日中に確認をしたいと思います。したがって午前中のプログラムの変更が生じます。始めて木津川のイベントに参加褪せても対ました。魚のこと沢山押しいただきました。楽しくすごかせてもらいました。暑い中素敵なイベントを企画をしていただき有難うございました。

▲きょうはきづがわでさかながとれたのがよかったです、屋上から見た景色がきれいでした。はっぴょうしたのがはずかしかったです。

▲色々な魚をつかまえてたのしかったです。きづがわに「またきたいと思いました。

▲さかなのことがよくわかった。

▲カマツカの発表がすごくて勉強になりました。好きなものを見つけて、色々と調べて発表できるなんて、すごいと思いました。自分の子どもにも経験させてみたいです。

▲魚捕りはすごく暑くて体調わるくならないかしんばいでしたが、かわにはいると色々な魚がとれて夢中になりました。またこのような機会があったら、参加したいです。ありがとうございました。

▲カマツカのせつめいがすごかった

▲自分で魚がとれてうれしかった

▲始めて参加させていただきました。京田辺市に転居してきた8年経ちましたが木津川に降りたのも初めて体験させていただきました。地域のことを学ぶ機会を頂けて良かったです。

▲メンバーが調べたカマツカのことや魚の取り方教えてもらい、実際にエビなどを捕らまえる体験をさせてもらい、とても意義のある時間だったと思う

▲楽しかった ▲暑い中ご苦労様でした

▲ぼくはまえで発表してるのが心にのこった。

▲きょうは36度8にもなった。だからおくじょうはきつかった

▲川のことがよく分かった。

▲とてもたのしかったです。カワムツが2ひきとれました。エビがたくさん取れたけど、魚が二匹しかとれなかったので、コツを知りたいです。初めてだし、心配だったけど、とても楽しかったです。ありがとうございました。

▲子どもたちの発表の場を提供していることは、とても良い活動だと思います。今後もこのような活動を続けてください。

▲たくさんの人と魚やエビがとれてたのしかったです

▲エビがたくさんとれた。暑かった。

▲時間を短縮されたのはいい判断だったと思います。毎年この時期は暑すぎるので、スタート時間をもっと早めて、川体験や魚捕りを朝一番の涼しい時間にやってしまうのも一頃かと思いました。

▲少しの時間だったけどたくさん勉強（木津川也町の風景、しぜん）できた。こんどきたときはカマツカをとりたい。

▲第4回京都府子どものみずべ交流会 とても暑い日でしたが、魚とりが出来て良かったです。発表もさせていただいてきいてもらえる楽しさ、魚の不思議を伝える楽しさを体験させてもらいとても良い場になりました。大学時代のお話も面白かったです。好きな事をつきつめる真っすぐな気持ちを大切にしていきたいです。おくじょうからのけしきとてもきれいでした。

▲木津川は汚れた川というイメージがあり、魚やドジョウ エビなど生態に溢れているのだと知り、興味ふかかった、やはり美しい川を守っていく為には様々な研究や努力があってこそだと思う、これから子供たちの為に守らなくてはと思った。

6月22日普賢寺小学校4年生 総合学習支援に行っていました。

前回福井さんへの手紙を掲載しましたが、抜けている方があり、再度報告します。

Y.Kさん

緑が美しい季節になりました。この間は、川の生き物や植物のことについておしえていただきありがとうございました。教えていただいたふげんじ小学校四年のY.Kです。

川がゴミのせいでよごれて生き物が住めないとおしえていただきありがとうございました。

ぼくはゴミで川がよごれるとしたりゴミひろいをしたりポスター立てたりして自ぜんを守りたいです。

これからもお体に気をつけて、植物や川の生物の研究をがんばってください。さようなら。

今回は金田さんへの手紙を掲載します。

I.Rさん

緑がまぶしい季節となりました。金田さんはお元気ですか。先日校外学習で昆虫を教えていただいた普賢寺小学4年のI.Rです。この間は色々な昆虫についてくわしく教えてくださり本当にありがとうございました。ぼくは昆虫のことがよくわかりました。ヨシノボリは石の上にひつくと聞いて驚きました。今までぼくが知らなかった昆虫でも金田さんに教えてもらったことで少し昆虫がわかりました。これからもお体に気をつけて昆虫のことを調べてください。さようなら。

N.Tさん 葉っぱの上にキラキラとしくが光る季節になりました。金田さんはお元気ですか。ふげん寺の自ぜんのことを教えていただいたふげん寺小学校4年のN.Tです。6月22日は色々なことを教えていただき本当にありがとうございました。オニヤンマがいるのは川の水がきれいだからだと教えてくださったのでびっくりしました。オニヤンマが今数少ないと聞いてじゃあめずらしいものを見れたんだと思いました。総合でその時にゴミが落ちていたのでポスターを作ったりゴミ拾いをするようになりました。それはみなさんのおかげです。私は普賢寺のことをもっと知りたくなりました。また普賢寺も見に来てください。これからもお体にも気をつけて地いきの色々なことを調べてください。さようなら。

H.Mさん 外が暑い季節になりました。先日普賢寺の虫のことを教えていただいた普賢寺小学校4年H.Mです。6月22日はありがとうございました。普賢寺の虫や魚、珍しい鳥などさまざまな虫や魚を見せてくださってありがとうございました。オニヤンマが見られたとき「この川はきれいだな」と教えてくださってありがとうございました。お体に気をつけてくださいね。また、どこかで会いましょう。さようなら。

S.Kさん 昆虫が多い季節となりました。金田さんはお元気ですか。6月22日に普賢寺小学校のまわりや生き物についておしえていただいた小学校4年のS.Kです。この間はしぜんや昆虫についてくわしく教えてくださり本当にありがとうございました。つかまえた虫やいた虫を見せてくださったのでよく分かりました。クラスのみんなが金田さんの説明を聞いておどろいていたと思います。あの後、ゴミ拾いのポスターをはるようになりました。これからもお体に気をつけて地いきのみんなに昆虫のことについて教えてください。さようなら

Y.Rさん 緑がまぶしい季節となりました。金田さんはお元気ですか。先日マラソンコースの自然について教えていただいた普賢寺小学校4年のY.Rです。この間は昆虫のとくちょうについてくわしく教えてくださり本当にありがとうございました。昆虫のすがたや名前の由来などを教えてくださったので昆虫についてとてもよくわかりました。しかしと中にゴミが落ちているのを見て、学校に帰った後教室で相談をしてその結果ポイ捨て禁止のポスター作りとゴミ拾いをするようになりました。地いきのためにがんばりたいです。これからもお体に気をつけて自然の研究を続けてください。さようなら。

N.Sさん アジサイがきれいな季節となりました。金田さんはお元気ですか。6月22日に普賢寺のまわりについて教えていただいた普賢寺小学校のN.Sです。その時は知らない昆虫の名前を教えてくださいありがとうございました。それからゴミのことを教えてくださったのでみんなでポスターを作ったりゴミ拾いをしようといういけんが出たのでそれをするようになりました。また教えていただいたことを生かしていきたいです。これからもお体に気をつけてがんばってください。さようなら。